

出ていけ草地雑草！メドウフォックステイル

概要 Abstract

- メドウフォックステイル（MFT：黒穂）は、チモシーと穂が似ていますが、極めて早い時期（5月）に出穂します。
- 家畜の嗜好性・栄養価が低く、土中埋没種子と地下茎から再生し、長く発芽し続けるので、従来の方法では防除できません。
- 生育特性を明らかにし、防除法を開発しました。



成果 Results

1 メドウフォックステイルの生育特性



	月	4月										5月										6月										7月																																						
	日	10	10	11	12	15	16	23	24	25	26	30	31	1	5	6	8	9	10	13	14	15	18	19	20	22	24	25	29	30	1	4	5	6	7	15																																		
メドウフォックステイル	萌芽期	→										開始										穂 孕 期										終了																																						
		→										←										出穂始										出穂期										終了																												
		→										←										開花始										開花期										終了																												
		→										←										開花後22日で種子が発芽能力獲得																																																
チモシー	萌芽期	⇒										穂 孕 期										⇒										出穂始					⇒					出穂期					⇒					開花期																		
オーチャードグラス	萌芽期	⇒										穂 孕 期										⇒										出穂始					⇒					出穂期					⇒					開花期																		
	推奨の刈取り管理																														1番草刈取り					⇒																														40日後に2番草刈取り				

2 メドウフォックステイルの防除法

- 飼料用とうもろこしを2年以上作付けし、除草剤ニコスルフロンを用いた茎葉処理を行う。
- 草地更新時にグリホサート系除草剤(G)で、前年前植生1回および翌年播種床処理2回行いオーチャードグラス早生品種を播種して、適期収穫を行う。
- 草地更新前の直近の2年以上、MFT種子が発芽能力を持つ前に早期刈り取りを行い、前植生および播種床にG処理して牧草を播種する。
- MFTが法面やほ場の端に存在するかどうかを確認し、MFTを認めた場合は作業機械等ではほ場内部に引き込まないようにし、MFTがほ場内部に侵入している場合は、刈り取り・収穫残渣が他のほ場に散布されないように作業機械を掃除する。

注) MFT侵入植生の改善にあたっては、飼料生産の環境に合わせてA,B,Cの順にいずれかを選択する。
Dは日常的に留意する。

連絡先 Contact

畜産試験場 家畜研究部 技術支援グループ 0156-64-0626 sato-narichika@hro.or.jp